

国語科 担当教員： XXXXXXXXXX

使用教材：教科書、副教材（ワーク、漢字ワーク、プリント等）

【学習目標】

- ・ 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- ・ 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- ・ 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

1年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	学年 計 140h			
	言葉に出会うために	学びをひらく	新しい視点で情報社会を生きる	言葉に立ち止まる	読書生活を豊かに	書写	夏休み	心の動き	筋道を立てて	いにしえの心にふれる	読書に親しむ	書写		冬休み	価値を見出す	書写
時間	7	12	14	7	1	6		20	10	18	1	6		10	8	20

2年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	学年 計 140h		
	広がる学びへ	多様な視点から情報社会を生きる	言葉と向き合う	言葉と向き合う	読書生活を豊かに	書写	夏休み	人間のきずな	論理を捉えて	いにしえの心を訪ねる	読書に親しむ	書写		冬休み	価値を語る
時間	10	22	8	1	6		20	18	10	1	6		10	8	20

3年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	学年 計 105h		
	深まる学びへ	視野を広げて情報社会を生きる	言葉とともに	書写	読書生活を豊かに	夏休み	状況の中で	自らの考えを	いにしえの心を受け継ぐ	書写	読書に親しむ	冬休み		価値を生み出す	書写
時間	10	13	7	4	1		14	9	12	6	1		12	5	16

○授業について

・国語の力は一朝一夕につくものではありません。日々の授業と家庭学習を大切にしながら、少しずつ力を身に付けていきましょう。

○生徒の皆さんへ

・授業では場面に応じて以下のことを積極的に、適切に行いましょう。
 「話す（発表、意見交換など）」
 「聞く（話し合い、討論など）」
 「書く（ノート、メモ、作文など）」
 「読む（読解、文章の理解）」
 「言語（漢字、文法、音読など）」
 ・提出物は定期考査と同じく評価資料となります。忘れずに提出しましょう。

○生徒の授業における ICT の活用について

・デジタル教科書を使用し、音読や資料提示を多くし、学びに向かう力を引き出します。
 ・調べる学習では、新聞、図書室、タブレット端末等を活用し、課題に対し、多様な考えをもつようにします。

○家庭学習はこのように取り組もう

・文章の読解については、本文とノートを繰り返し読み、授業を何度も思い出しましょう。
 ・言語・知識・漢字については、自分が間違えるところを中心に、何度もノート等で練習するのが効果的です。

○定期考査前はこのように取り組もう

・覚えることを整理し、効率よく暗記しましょう。
 ・ノートや授業のまとめを見ながら、授業の復習をしましょう。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。
評価資料	定期考査 小テスト 提出物（ノート、プリント等）	定期考査 小テスト 提出物（ノート、プリント等）	授業観察 提出物（ノート、プリント等） 個人内評価

